

九州新幹線**武雄温泉**駅開業に向けた

魅力創造行動計画



平成31年2月

武雄市新幹線活用プロジェクト

目次

I：新幹線開業が武雄市にもたらす効果・・・01

II：新幹線開業が武雄市にもたらす好機・・・02

III：武雄温泉駅デザインイメージ・・・03

IV：行動計画（アクションプラン）・・・04

具体的な取組内容

（1）武雄温泉駅（新幹線・在来線）高架下空間の整備・・・05

（2）駅前広場の整備・・・09

（3）回遊性のある観光地づくり・・・11

（4）広域観光地と協力・・・15

（5）情報発信の強化・・・17

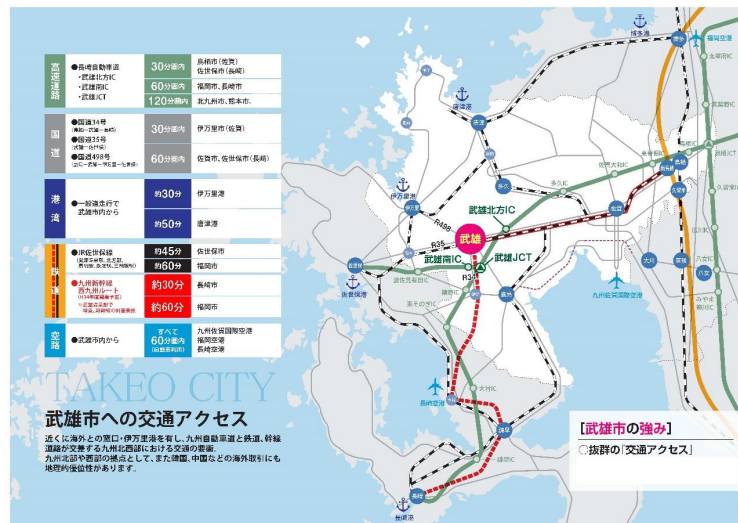
（6）定住促進・・・19

I：新幹線開業が武雄市にもたらす効果

西九州で優位な位置

西九州エリアのほぼ中央に位置し、地理的優位性がさらに向上

高速交通網が道路、鉄道ともに充実します。
鉄道利用では福岡市、長崎市、佐世保市等から1時間以内で来訪できます。



運行本数

博多 から 特急が約2～3倍増加

※1時間に上下それぞれ2～3本程度停車

長崎 から 新幹線 開通

※1時間に上下それぞれ2本程度停車



JR九州において武雄長崎間の新幹線は、1日上下合わせて64本運行される計画です。
博多武雄間の特急列車は、武雄温泉駅での対面乗換方式により、リレー特急が1日上下合わせて64本、特急が1日上下合わせて32本の運行が想定されています。
正式なダイヤは、開業前にJR九州が決定します。

広域的な移動時間

新大阪 から 最速 3時間35分

博多 から 最速 1時間 6分

長崎 から 最速 約 28分（約58分短縮）

※所要時間は「収支採算性及び投資効果に関する詳細資料」平成24年3月国土交通省鉄道局より抜粋

II：新幹線開業が武雄市にもたらす好機

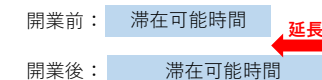
交通可能圏域が拡大し、武雄市に来訪しやすくなります

長崎と武雄が新幹線で結ばれることで長崎空港を利用する東京、名古屋、大阪、神戸、沖縄から旅行やビジネス目的の来訪が可能になります。
また、運行本数が増加することで広島や岡山といった中国地方や大阪や神戸といった関西地方から多くの方の来訪が可能になります。



来訪者の武雄市での滞在可能時間が長くなります

運行本数の増加で、時間調整が可能になります。
その時間の分だけ、武雄市に長く滞在し、市内を回遊していただくことが可能になります。



広域移動ルートの拠点として存在感が高まります

西九州エリアのほぼ中央に位置し、地理的優位性が更に向上することから玄関口として存在感が高まります。
また、武雄温泉駅で特急から新幹線への対面乗換が行われることから、福岡と長崎をつなぐ結節点として重要な位置になります。

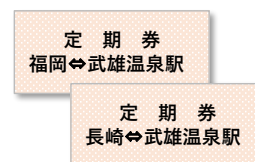


企業立地や産業集積、広域的なビジネス展開のポテンシャルが高まります

高速交通網である高速自動車道路と新幹線ネットワークを備えることで、九州北部の主要都市から1～2時間でアクセスできるため、広域的なビジネス展開ができるようになります。新たな企業立地が期待できます。

通勤・通学可能圏域が拡大し、武雄市から通いやすくなります

移動時間の短縮や運行本数の増加で、これまで単身赴任や学生の一人暮らしが必要であった都市へも自宅から通勤・通学することが可能となります。



UIターンの場として選ばれやすくなります

温泉や豊かな自然環境を兼ね備え、都市からの利便性が向上することで定住や、都市（仕事・平日）と田舎（余暇・休日）を使い分けたライフスタイルを実現する場としての可能性や期待感が高まります。

Ⅲ：武雄温泉駅デザインイメージ

温泉街になじむ歴史と新しさを感じる駅



独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 提供

武雄の温泉街になじむ落ち着いた屋根を現代的に表現したデザインとしています。
歴史を感じる漆喰や、赤い木組をイメージした素材を低層部に用いることで、落ち着いた高層部と調和したデザインとしています。



(イメージ図) コンコース



(イメージ図) ホーム

Ⅳ：行動計画（アクションプラン）

基本的な考え方



西九州のハブ都市

それ、武雄が
始めます。

Make It! TAKEO

令和4年度に九州新幹線武雄温泉駅が開業することにより、武雄市は西九州エリアの交通結節点として更に存在感が高まります。この好機を活かし、全国から、世界からたくさんの方に武雄市へ来ていただくためにも武雄の魅力に更に磨きをかけ、訪れたい、住みたい環境づくりを進めていく必要があります。

そのため、官民が連携して、具体的な事業計画などを進め、新幹線開業に向けて様々な取組みを展開していきます。

行動計画の柱

6つの柱	施策
(1)	武雄温泉駅（新幹線・在来線）高架下空間の整備
(2)	駅前広場の整備
(3)	回遊性のある観光地づくり
(4)	広域観光地と協力
(5)	情報発信の強化
(6)	定住促進

行動計画期間

平成30年度から令和3年度まで

※新幹線開業年である令和4年度には新幹線開業に向けた準備を完了する

Ⅳ：行動計画（アクションプラン）

具体的な取組内容

行動計画の6つの柱に基づいて、35の事業内容を掲げ、さらにその内容に沿って取り組むべきアイデアを取りまとめました。

（１）武雄温泉駅（新幹線・在来線）高架下空間の整備

番号	事業内容 案：取組みアイデア（確定したものではない）	実施体制
1	武雄温泉駅（新幹線・在来線）高架下空間に観光物産交流施設の整備 〔ハード整備〕 案 □①現在の観光交流センターとの機能調整 （観光案内所、飲食、休憩・待合、土産店）	武雄市
2	総合観光案内所の運営 案 □①駅で荷物を預けて宿で受け取るサービス □②手荷物一時預かりサービス（駅に荷物を預けて手ぶら観光） □③大きなキャリーケースが入るロッカー □④交通案内（レンタカー、バス、タクシー、レンタサイクル等） □⑤観光案内（温泉、やきもの等） □⑥ボランティアガイド □⑦レンタカー受付カウンター（総合案内所横に設置） □⑧案内所にバス案内をデジタル表示させる □⑨広域地図の作製	武雄市観光協会
3	飲食店等施設出店・待合所の運営 案 □①特産のさがびよりのおにぎりを食べられる（売店・飲食店） □②佐賀の酒、立ち飲み（地のもの、器、珍味（いのしし、ムツゴロウ）） □③佐賀のお酒の飲み比べの店 □④コインで日本酒を飲める（越後湯沢駅） □⑤飲食店を増やす・ランチのお店 □⑥飲食スペースを増やす □⑦多目的広場として活用（ラーメン横丁、マルシェ等） □⑧ご当地駅弁 □⑨キッズルーム □⑩テーブル・カウンター □⑪Wi-Fi	武雄商工会議所 武雄市商工会 武雄市観光協会 武雄飲食業協会
4	特産物販売・土産の販売 案 □①武雄にしかない物産、土産販売 □②西九州エリアの特産品販売 □③道の駅のような市内特産品、野菜など日常の食品が購入できる店 □④コンビニ	武雄商工会議所 武雄市商工会 武雄市観光協会
5	駅改札のIC化・ICカードが利用できる改札の設置 案 □①在来線駅改札をICカードで利用できる	JR九州 武雄市

スケジュール（案）

2018年度（H30）	2019年度（R1）	2020年度（R2）	2021年度（R3）	目指す姿
JR等へ高架下 利用要望	運営方法等の検討 JRへ高架下空間 借用願い	基本設計・ 実施設計	本体工事	○駅高架下空間で 西九州エリアの魅 力を感じることが できる
レイアウト素案 案内機能の整理	案内機能の整理	案内機能の協議	案内機能の 試験実施	
				○観光地案内や機 能を充実した案内 所を観光客が利用 している
	飲食等運営方 法	運営主体との協議 武雄名物 ご当地グルメ企画	運営主体との協議	○魅力的な物販、 飲食店舗等を多く の観光客や市民が 利用している
	物販運営方法	運営主体との協議		
	調査・JRへ要望	JRへ要望		○駅改札をICカード で利用できる

※実施体制は、主体的に取り組む者（団体）。市民又は関係者への意見は必要に応じて求める。

Ⅳ：行動計画（アクションプラン）

（１）武雄温泉駅（新幹線・在来線）高架下空間の整備

番号	事業内容 案：取組みアイデア（確定したものではない）	実施体制
6	デジタルサイネージの設置、運用 案 ☐ ①ディスプレイなどの電子的な表示機器を使って情報を発信するメディア ☐ ②観光PV（武雄・西九州の魅力をPR） ☐ ③電子看板 ☐ ④デジタルを駆使した旅の提案 ☐ ⑥新幹線改札口を出た柱にデジタルサイネージの設置又は配線	JR九州 武雄市
7	乗換ホームに観光パネル等の設置 案 ☐ ①楼門パネル ☐ ②観光パンフレットの設置 ☐ ③乗り換え時に武雄を印象付ける音楽を流す ☐ ④駅に降りたくなるような目玉、しかけ、アナウンス ☐ ⑤電子看板（デジタルサイネージ）又は配線	JR九州 武雄市
8	駅通路内の誘導案内表示 案 ☐ ①駅通路にバス、タクシー乗り場への誘導案内表示を設置	バス事業者 タクシー事業者 JR九州
9	レンタサイクルの充実 案 ☐ ①レンタサイクルの受付場所 ☐ ②一人乗り、二人乗り、電動自転車等の設置 ☐ ③ベビーカー	武雄市観光協会



川端通り高架下 イメージ図

スケジュール（案）

2018年度（H30）	2019年度（R1）	2020年度（R2）	2021年度（R3）	目指す姿
（駅舎建築に関すること）				
レイアウト素案	鉄道・運輸機構及びJRへ要望	課題分析、効果設定 サイネージ活用設計	コンテンツ施策設計 運用設計、体制構築	○武雄・西九州の 情報を取得している
（駅舎建築に関すること）				
レイアウト素案	鉄道・運輸機構 及びJRへ要望	要望事項の整理 JRへ要望	JRへ要望	○乗換ホームで武 雄を印象づける
		案内表示の 整理・要望	設置	○案内表示を見な がら観光客が誘導 されている
レンタサイクル増設、コース提案				
				○レンタサイクル 等を利用し、観光 地巡りをしている

※実施体制は、主体的に取り組む者（団体）。市民又は関係者への意見は必要に応じて求める。

Ⅳ：行動計画（アクションプラン）

（２）駅前広場の整備

番号	事業内容 案：取組みアイデア（確定したものではない）	実施体制
1	駅御船山口から出て、バス、タクシー、送迎車に乗ための歩道に庇やベンチを設置 案 □①バス、タクシーに乗るまで雨に濡れない庇の設置 □②送迎車、バスの待合のための施設充実（ベンチ・屋根）	武雄市
2	観光客が路線バスを利用して次の目的地に迷わず行くことができるような案内表示を設置 案 □①バス停の行先別の表示は分かりやすく 1番乗り場〇〇行き、2番乗り場××行き） □②バス停までの誘導表示 □③バス乗り場の集約	バス事業者 武雄市
3	一般車の一時駐車場とバス待機場の設置 案 □①一般車の一時駐車場の拡大 □②観光バス待機場の必要台数確認（多すぎでは） □③観光バス置き場は、観光バスが駐車していない時間には多目的に活用	武雄市
4	温泉情緒の演出 案 □①景観、温泉街の雰囲気演出 □②大砲、銅像の設置（歴史的な財産を活かす） □③駅前降りて撮影したくなる物 □④広場や歩道の舗装は、新幹線駅舎と統一感を持たせる □⑤足湯 □⑥指湯 □⑦駅前温泉 □⑧保養村の給湯管を駅周辺まで持ってくる （駅前ホテル、体育館、福祉施設へ配る）	武雄商工会議所 武雄市観光協会 武雄温泉旅館組合 武雄市



駅南口周辺整備事業計画 パース図

スケジュール（案）

2018年度（H30）	2019年度（R1）	2020年度（R2）	2021年度（R3）	目指す姿
活用計画		実施設計	工事	○駅から雨に濡れないような快適な空間を通して次の交通手段に乗換られる
レイアウト素案	利用状況確認	乗り場、案内表示内容の協議	表示の設置、点検	○案内表示を見て目的地に行く
活用計画	観光バス待機場の必要台数調査	実施設計	工事	○安全な走行ができる車道があり、一時的に駐車できるバス、タクシー、一般車の駐車場が確保されている
活用計画		実施設計	工事	○観光に訪れた人をおもてなしする場所になり、広場で観光客が写真をとっている。

※実施体制は、主体的に取り組む者（団体）。市民又は関係者への意見は必要に応じて求める。



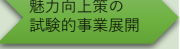
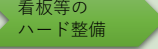
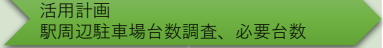
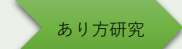
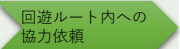
新幹線駅舎工事風景（駅南口広場より）

Ⅳ：行動計画（アクションプラン）

（３）回遊性のある観光地づくり

番号	事業内容 案：取組みアイデア（確定したものではない）	実施体制
1	駅、図書館、楼門を回遊するメインルートの整備 □①自転車専用レーンの整備 □②メインストリートの設定、ネーミング □③笹町緑地の活用（銅像、写真スポット） □④観光地看板の統一 □⑤駅・図書館・楼門の動線を分かりやすくする □⑥駅・図書館・楼門をつなぐオルレの様な標識とルート □⑦歩道には、現在地から目的地までの時間を表示する □⑧現在地からの距離マップを各地に設置 □⑨徒歩、自転車で散策したくなるしかけ □⑩クイズ形式で街を歩かせる □⑪雑貨街等のおしゃれな街並み ☑⑫武雄まちあるきマルシェ →R1.5実施 □⑬歴史を記載したマップ（数百メートルごとのポイント） □⑭武雄川の河川敷を歩かせる（水辺の活用） □⑮武雄川ランニングコース □⑯イベントの写真を色々な施設へ掲示 □⑰温泉街を歩く（歩ける仕組みをつくる） □⑱温泉街の雰囲気、街並み景観、宿場町、大正ロマン □⑲「旬の地場もの」もてなし料理、弁当 □⑳古さ（楼門エリア）と新しさ（図書館エリア）が共存する散策	武雄市 民間事業主
2	メインルート内新幹線高架下空間に広場の設置 □①移動販売車（キッチンカー、軽トラ市） □②コンテナ商店街 □③飲食、休憩所、子供の遊び場設置 □④ランチの店 □⑤西九州エリアのうまかもの店（飲食・特産品販売）を誘導 □⑥武雄産農産物を使った郷土料理の店 □⑦手作り作家の店（小物づくり） □⑧足湯体験 □⑨ドッグラン（ペットフリーの街） □⑩高架柱に主要施設までの誘導表示 □⑪きれいで歩きやすい歩行空間 □⑫ミストシャワー設置（暑さ対策） □⑬夜の屋台 □⑭構造物がない広場（夜市） □⑮光の演出、地面への埋め込み照明の設置 □⑯タクシーや運転代行の待機所 ※武雄の新たな魅力づくりにつながる場所であり、高架下空間の利用方法によって整備が異なるため、早期に検討	武雄市 民間事業主
3	駅周辺に駐車場の整備 □①駅周辺に駐車場増設（通勤者用含む） □②新幹線高架下駐車場 □③旧庁舎跡地駐車場	武雄市
4	メインルート内の商店にテイクアウトメニューの紹介とベンチ設置の協力を依頼する □①テイクアウトメニューの紹介（寿司、バーガー、コロッケ等） □②木陰・休憩ベンチの設置協力依頼	武雄商工会議所 武雄市商工連合会 川端通り商店会 武雄飲食業協会

スケジュール（案）

2018年度（H30）	2019年度（R1）	2020年度（R2）	2021年度（R3）	目指す姿
 	 			○回遊性が向上し、歩くことが楽しいと感じるまち（道）になっている。 ○観光客が絵になる場所を写真に撮ったり、休憩したりしながら街歩きやサイクリングを楽しんでいる。
				○昼も夜も人が立ち寄り交流が生まれる場所になっている
				○駅を利用する人が利用できる駐車場が確保されている
				○散策の途中に滞留、休憩できるようなベンチ等が設置されている。

※実施体制は、主体的に取り組む者（団体）。市民又は関係者への意見は必要に応じて求める。

Ⅳ：行動計画（アクションプラン）

（３）回遊性のある観光地づくり

番号	事業内容 案：取り組みアイデア（確定したものではない）	実施体制
5	夜の観光の魅力向上 ☐ ①ナイトスポットマップ （図書館、市役所、居酒屋、バー、競輪、温泉、御船山、神社） ☐ ②公共施設の活用 ☐ ③団体夕食受入場所の拡大 ☐ ④夜市、ランタン ☐ ⑤通年開催の夜のイベント ☐ ⑥若者が集まるイベントの開催（大人の夜会等）	武雄商工会議所 武雄市商工会 川端通り商店会 武雄市観光協会 武雄飲食業組合 タクシー事業者 武雄市
6	訪日外国人観光客受入環境の整備 ☐ ①外国人観光客へのガイド ☐ ②韓国語、中国語に対応できる店の表示 ☐ ③韓国語・中国語の標識案内 ☐ ④キャッシュレス決済（小売店、バス、タクシー等） ☐ ⑤外貨両替・クレジット対応銀行ATMの設置	武雄商工会議所 武雄市商工会
7	駅と観光客が訪れたい施設を結ぶバスの定期便の運行 ☐ ①市街地を巡回する周遊バス（駅⇒楼門⇒御船山⇒図書館⇒物産館を 巡る）。「バス協議会」ヘルート協議を依頼 ☐ ②市街地の一部エリアに100円バスの導入 ☐ ③駅・図書館・楼門を結ぶシャトルバス（外国人は歩く） ☐ ④駅・図書館・楼門専用バス時刻表 ☐ ⑤駅のバス乗り場の一本化 ☐ ⑥広域観光、生活路線、福祉としての活用	バス事業者 武雄市観光協会 武雄市
8	短時間滞在者の散策ルートの開発 ☐ ①駅前観光 ☐ ②駅の南北に対象者（男性、女性、若者、高齢者）にあった 観光ゾーンづくり ☐ ③1～2時間程度の観光モデルコース ☐ ④丸山公園へ駅北口からのルートづくり ☐ ⑤白岩運動公園・丸山公園を明るく美化する ☐ ⑥丸山公園を街・新幹線を撮る写真スポットに整備	武雄市観光協会 武雄市
9	テーマ性のある多様な旅の開発 ☐ ①武雄の歴史・蘭学を学べる施設 ☐ ②焼き物の町として窯元の紹介 ☐ ③イベント（駅前広場、高架下） ☐ ④地元が一致団結した継続的なイベント ☐ ⑤長期間開催イベントの開発（あかり展の様なイベント） ☐ ⑥ゆかたで歩かせる仕掛けづくり ☐ ⑦夜の街の楽しみ方 ☐ ⑧ちゃんぽん街道スタンプラリー ☐ ⑨旅行の目的としての「食」の充実	武雄商工会議所 武雄市商工会 武雄市観光協会 武雄飲食業組合 タクシー事業者 武雄青年会議所 武雄市
10	市民の新幹線開業機運を高める ☐ ①市民への周知（ポスター、会報、チラシ等）と地元の協力 ☐ ②市民への周知 市報新幹線特集H30.10月号、R1.5月号 ☐ ③高齢者への情報発信 ☐ ④開業カウントダウン	すべての団体

スケジュール（案）

2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	目指す姿
「武雄のあかり展」 実施	企画・試験的事業展開			○夜の時間を観光客が楽しんでいる。
市内店舗への 多言語対応HP導入	課題整理	受入環境の充実	受入環境整備	○訪日外国人観光客が増え、市内の消費拡大につながっている。
運行路線の確認 新庁舎、図書館を 通る路線の拡充	部会設置・情報交換 武雄市地域公共交通 網形成計画の策定	関係者との協議・調整 運行計画案作成	運行計画案作成 地域公共交通会議 許認可手続き 広報、説明会等	○広域観光、生活路線としてバスが利用されている。
	散策ルートの企画	試験的事業展開	散策ルートの開発	○複数のモデルコースができ、観光客が散策を楽しんでいる。
「武雄のあかり展」 「武雄の明治維新」	観光資源の整理 資源の磨き上げ	企画提案所の作成	試験的事業展開	○武雄の魅力的な資源に観光客が訪れる。 ○観光客が通年切れ間なく分散して訪れる。
広報誌等への掲載	広報誌で特集 出前講座	広報誌で紹介 開業機運醸成検討会	広報誌で照会 開業告知資料の作成	○新幹線開業が認知されている ○市民に、新幹線を利用した地域振興や商業振興を積極的に行う機運が広がっている。

※実施体制は、主体的に取り組む者（団体）。市民又は関係者への意見は必要に応じて求める。

Ⅳ：行動計画（アクションプラン）

（４）広域観光地と協力

番号	事業内容 案：取組みアイデア（確定したものではない）	実施体制
1	駅の観光案内所における広域案内機能の充実 ☐ ①広域観光案内所の整備 （外国人観光客に対応できるスタッフの配置、周辺市町の観光情報） ☐ ②広域市町連携するには人材（数）確保	武雄市観光協会 武雄市
2	バス、タクシー、レンタカー等の交通手段の充実 ☐ ①博多～武雄～鹿島までの高速バスの運行 ☐ ②路線バスの整備、新幹線との接続を意識したダイヤ編成 （鹿島・伊万里方面） ☐ ③武雄を拠点として周辺市町の拠点施設、観光名所への交通手段の充実 （バス、レンタカーなど） ☐ ④公共交通の充実（観光・通勤） ☐ ⑤唐津、伊万里、鹿島へのアクセス向上 ☐ ⑥長崎本線減便を踏まえた鹿島・祐徳稲荷神社へのアクセス向上 ☐ ⑦長崎空港への乗合タクシー等の運行	バス事業者 タクシー事業者 武雄市
3	広域観光周遊メニューの開発 ☐ ①有田、伊万里、波佐見、鹿島、佐世保との周遊メニューを共同で作る ☐ ②広域観光周遊エリアに名前を付ける ☐ ③ハウステンボスの入園と武雄の「温泉、御船山、日本庭園」を セットにしたメニューの開発 ☐ ④周辺市町観光施設の周遊するしかけ（バス、割引チケットなど） ☒ ⑤有田・武雄・嬉野地区連携会議 →R1.7発足	武雄市観光協会 バス事業者 武雄市
4	旅行代理店へ商品開発依頼 ☐ ①長崎とセットでの観光商品を開発してもらう ☐ ②武雄を経由（起点）に周辺市町を観光する旅行商品の開発 ⇒旅行会社への営業 ☒ ③広域パンフレット、ステッカー作成 →H31.4	武雄市観光協会 武雄市

スケジュール（案）

2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	目指す姿
ネットワークづくり		案内機能の整理、試験実施		○観光案内所が周辺地域の拠点として機能している
長崎空港への乗合タクシー運行 （パイロット事業の実施）	部会設置、情報交換 武雄市地域公共交通網形成計画の策定	関係者との協議・調整 運行計画案作成	運行計画案作成 レンタカー事業者協議 地域公共交通会議 許認可手続き 広報、説明会等	○交通拠点として広域へ移動するための交通手段が充実している。
ネットワークづくり		連携会議設置、観光資源の整理、企画提案所の作成など		○広域にある観光地と協力してエリア内をめぐる多くのツアー造成がされている。
営業活動			営業活動の強化	

※実施体制は、主体的に取り組む者（団体）。市民又は関係者への意見は必要に応じて求める。



武雄周辺自治体PRパンフレット



3市町連携 PRロゴ



Ⅳ：行動計画（アクションプラン）

（５）情報発信の強化

番号	事業内容 案：取組みアイデア（確定したものではない）	実施体制
1	福岡、関西に対するプロモーションの強化 ☐ ①温泉街としてのイメージの定着（景観・温泉街の雰囲気などの演出） ☐ ②食の魅力発信 ☐ ③外から見た武雄市・市内の点検 ☐ ④武雄温泉駅通過者に対する発信 ☐ ⑤博多駅、長崎駅の発車表示板、アナウンス	武雄市観光協会 武雄市
2	武雄市のPRビデオの作成 ☐ ①観光PR動画 ※毎年更新が必要 ☐ ②武雄市の魅力を伝える動画	武雄市観光協会 武雄市
3	周辺自治体と連携したプロモーションの実施 ☐ ①周辺自治体と連携した観光PR ☒ ②有田・武雄・嬉野地区連携会議による福岡プロモーション→R1.9実施 ☐ ③武雄だけでなく周辺地域（広域）の観光情報を一体的に発信する ☐ ④武雄温泉駅で降りて西九州エリアのイベントに行ってもらうキャンペーン	武雄市観光協会 武雄市
4	開業直前プロモーションの実施 ☐ ①知名度を上げる ☐ ②武雄と長崎の近さをアピールする ☐ ③新幹線の停車する街だとPRする ☐ ④有効的な情報発信	すべての団体



武雄市プロモーション 動画「LIFE IN TAKEO」

スケジュール（案）

2018年度(H30)	2019年度（R1）	2020年度（R2）	2021年度（R3）	目指す姿
情報収集	営業活動			○魅力的で質の高い情報により、観光客の来訪が増している。
市プロモーション動画作成、活用	動画作成、活用			
	ネットワークづくり	実施内容の企画	プロモーション	
		企画、準備	開業直前プロモーション	

※実施体制は、主体的に取り組む者（団体）。市民又は関係者への意見は必要に応じて求める。



IV : 行動計画（アクションプラン）

（６）定住促進

番号	事業内容 案：取組みアイデア（確定したものではない）	実施体制
1	住む町としての魅力発信 □①武雄の空き家対策、子育て制度、教育など特色ある取り組みを長崎の方に知ってもらう □②移住体験の機会をつくる □③個別に物件・生活環境をアピールして転入者を増やす	すべての団体
2	雇用の拡大と人材の確保 □①大規模農業の農業法人化による就農率向上 □②高校、大学を誘致、学生アルバイトの確保 □③定住者、若者が就きたい職業、仕事の場	武雄商工会議所 武雄市商工会 佐賀県農業協同組合 武雄市観光協会 武雄市
3	往復割引切符等の検討 □①通勤、通学向け新幹線乗車割引 □②博多・武雄間の特急列車の2枚切符を博多・佐賀駅間と同様に普通運賃並みにするようJRに働きかける（開業前までに）	JR九州 武雄市
4	新幹線通勤者向けの支援 □①定住支援制度 □②新幹線利用者向け通勤、通学への助成	武雄市

スケジュール（案）

2018年度(H30)	2019年度（R1）	2020年度（R2）	2021年度（R3）	目指す姿
空き家バンク 移住者への補助金助成	情報発信、移住体験		情報発信	○「住んでもらうための新幹線」という活用を行い、移住者増と地元市場規模の拡充につなげる。 ○普段は歴史、温泉、自然の豊かな武雄で生活し、用件のある時だけ気軽に都市を訪れるというライフスタイル
企業合同説明会等				
	JR九州へ要望、沿線自治体との連携			
		支援内容の検討		

※実施体制は、主体的に取り組む者（団体）。市民又は関係者への意見は必要に応じて求める。

佐賀県武雄市移住支援サイト
たけおグッドライフ

お問い合わせ
武雄市住まい支援課
0954-23-9221



武雄市移住支援サイト「Lたけおグッドライフ」

□第2版（令和2年6月更新）